

第3回実行委員会報告

日時：平成22年12月5日(日)

1. 芸術文化振興基金助成金申請について

独立行政法人日本芸術文化振興会から募集案内があった「アマチュア等の文化団体活動」に対する支援活動に助成金(〇〇万円)の申請を行ったことを報告。助成金の内定は来年3月末に通知される。なお、30周年の際には、同基金から〇〇万円の助成金を受け取った実績があります。

チラシ印刷は、日本芸術文化振興会のマークを入れることを考慮して4月以降に印刷することにします。

2. 第3ステージ曲目決定及び編曲依頼について

選曲委員会にて実行委員会提案どおり決定したことを報告。

- ・「あなたが選ぶ、昭和の歌」というタイトルで、昭和20年代～昭和60年代の歌謡曲を各年代2曲ずつ計10曲を用意し、会場でのお客様のリクエストにより、各年代1曲ずつ、計5曲を演奏する。

年代	キーワード	選択ワード	曲 目	選択ワード	曲 目
昭和20年代	色	赤	昭和21年 並木路子 リンゴの唄	青	昭和24年 藤山一郎・奈良光枝 青い山脈
昭和30年代	数	13	昭和32年 美空ひばり 港町13番地	3	昭和38年 舟木一夫 高校差3年生
昭和40年代	時	会	昭和40年 加山雄三 君といつまでも	別	昭和46年 尾崎紀世彦 また逢う日まで
昭和50年代	季	春	昭和52年 千昌夫 北国の春	冬	昭和52年 石川さゆり 津軽海峡冬景色
昭和60年代	生	熱	昭和60年 小林旭 熱き心に	穏	昭和64年 美空ひばり 川の流れのように

(NHKが平成元年に行った「昭和の歌謡曲ベスト200」の調査結果を参考に、年代別に2曲ずつを選曲)

- ・編曲を、元アカ団の指方浩先生へ依頼した。12月末完成の見込み。

3. アンコール曲について(報告・審議)

ラデッキー行進曲については、選曲委員会にて承認されたが、「島よ」の替え歌は反対されたことを報告。

第2案として、「島よ」と同じ作曲家 大中恩の「うたおう」・「おなかのへるうた」アカ団バージョンを審議、

選曲委員会へ提案する。

4. PR用ポスターについて

ポスターについて審議、A2サイズポスターを100枚作製することを決定しました。

5. 練習計画について

来月から定例練習の他にパート練習を行うことを含め、40周年に向けての長期練習計画案を選曲委員会にて検討いただくよう、選曲委員会へ依頼する。

6. 各ステージ衣裳・企画について（企画案紹介）

各ステージの衣裳について、次の案であることを紹介。

第1ステージ（シューベルト・ミサ曲）： 黒上下、黒蝶ネクタイ

第2ステージ（日本の笛）： ベージュ団ブレザー、赤棒ネクタイ

第3ステージ（昭和の歌）： 長袖Tシャツ（曲目毎に選択ワードのゼッケン取り替え）

第4ステージ（島よ）： 紺団ブレザー、赤棒ネクタイ

全体のアナウンサーを 河野氏に依頼する。（35周年と同じく）

「島よ」では、プロの朗読を検討。

7. 予算案審議

予算案について審議、ほぼ決定し、精算した案を確定後、団員へ報告します。

（主な内容）

客演の謝礼は練習時の謝礼も含めた予算とする。

アナウンサー、朗読の謝礼も含める。

演奏会用特別練習（パート練習、アンサンブル合わせ会場費等）の会場費も含める。

第3ステージ用衣裳代も予算に含める。

打ち上げ会費は予算〇千円/人とし、演奏会会計から〇千円補助とする。

チケットは、一人〇〇枚ノルマとする。（〇〇枚配布、〇万円集金位とすることを検討）

CDを全員に配布、DVDは希望者に購入していただく。

8. プログラム・チラシ・ポスターのデザインについて

プログラムのデザインを外部に依頼又は印刷会社に依頼するかは、引き続き検討する。

なお、プログラム・チラシ・ポスターに使用するロゴマーク（アカ団のシンボル、40周年用）を団員から

募集しますので、フルって応募下さい。

9. その他

- ・ 10/23に客演演奏者（マルヴァローザ、河合由美子さん、尼崎先生）との打ち合わせを行いました。
- ・ DVD用の撮影は萬木さんに依頼する。
- ・ CD録音は、今泉さんに依頼する。
- ・ 市民音楽祭でのスタッフ用名札、及びその運用について道岡さんから紹介。
- ・ アカ団ホームページが小方さんにより開設されました。
- ・ 次回実行委員会は次のテーマを中心に行う予定
 - ・ チケット配布検討
 - ・ 後援依頼、広告依頼
 - ・ マスコミPR依頼

※注

掲載記事の中の金額・枚数などの具体的数字については○印表示しました。詳しくは各人に配布済みの「実行委員会だより」をご覧ください。